

第9回宇宙安全保障部会 議事録

1. 日 時：平成27年11月5日(木) 10:40～11:40

2. 場 所：内閣府宇宙戦略室大会議室

3. 出席者

(1) 委員

中須賀部会長、青木委員、折木委員、久保委員、白坂委員、仁藤委員、
山川委員

(2) 事務局

小宮宇宙戦略室長、中村宇宙戦略室審議官、高見宇宙戦略室参事官、
内丸宇宙戦略室参事官

(3) 説明者

内閣情報調査室 内閣審議官 富田 邦敬

内閣情報調査室 内閣衛星情報センター 次長 塩川 実喜夫、

内閣情報調査室 内閣衛星情報センター 管理部長 青木 信義

(4) 陪席者

内閣官房国家安全保障局 内閣審議官 吉田 圭秀

4. 議事次第

(1) 情報収集衛星について

(2) 宇宙安全保障に関する工程表改訂について

(3) その他

5. 議 事

(1) 情報収集衛星について

内閣情報調査室より、資料に基づき、情報収集衛星に係るユーザー・ニーズを踏まえた対応の状況について、説明が行われた。当該説明を踏まえ、委員等から以下の意見等があった。(以下、意見等、内閣情報調査室の回答)

内閣衛星情報センターが、例えば、自衛隊を含む関係機関の活動により直接的に寄与するような活用の方法などについて、引き続き、関係省庁と緊密にコミュニケーションをとりながら検討されることを期待したい。(小宮室長)

各利用省庁のニーズに応じて画像等の情報を共有することは大変重要である。他方、情報保全の観点から、人的管理を含むサイバーセキュリティの確保のための施策を強化することも重要である。(山川委員)

我が国の厳しい財政状況を踏まえると、情報収集衛星の性能等に関する今後の検討において制約もあると思うが、その中においても、我が国の宇宙関係予算全体が増え、宇宙政策全体の成果が増大する方向で、ご検討を頂きたい。(山川委員)

ユーザー・ニーズ調査を5年に1度程度を目処に実施するとあるが、衛星に搭載するレーダーや光学センサーは、数年おきに新しくなる傾向にあるので、必要に応じ、そうした新しい技術を速やかに反映できるよう、継続的なフォローアップについても積極的に実施して頂きたい。(白坂委員)

これまでの部会でも指摘しているが、情報収集衛星で培われた技術が、我が国の宇宙産業全体の活性化や競争力向上に資するよう、ご検討を頂きたい。(中須賀部会長)

委員等の皆様方より頂いたご意見等につき、承知した。(内閣衛星情報調査室)

(2) 宇宙安全保障に関する工程表改訂について

事務局より、参考資料に基づき、宇宙安全保障に関する工程表の改訂について説明を行った。当該説明を踏まえ、委員から以下の質問・意見等があった。(以下、質問・意見等、事務局の回答)

宇宙活動法に関する工程表の説明の中で、宇宙産業ビジョン(仮称)の話があったが、これはどのような内容を想定したものなのか。(中須賀部会長)

宇宙産業ビジョン(仮称)は、我が国の宇宙産業の将来の在り方等について、当該産業の動向や政策的課題等を踏まえつつ、取りまとめて行きたいと考えているものである。宇宙政策上の重要案件であり、宇宙政策委員会にてご議論頂きたいと考えている。(高見参事官)

我が国の宇宙産業の将来の在り方等については、宇宙政策委員会で議論しなければならない最も重要な課題の一つと考えている。本件については、宇宙活動法に係る検討を取り掛かりとして、宇宙安全保障部会だけではなく、他の部会においても、それぞれしっかり検討をして頂き、まとめていくことが必要である。(中須賀部会長)

諸外国との重層的な協力関係の構築に関する工程表の説明の中で、全球地球観測システム（GEOSS）次期10カ年計画の推進とあったが、当該名称は「GEO戦略計画」となったと承知しているので、名称を変更した方がよいのではないか。（青木委員）

以 上